

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

北	区地域自立支援協議会
---	------------

A 協議会本会議

名称	北区地域自立支援協議会			開催頻度			4回(5月、7月、12月、3月)			参加者数		25名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○			○	○	○	○	○	○		
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	全体テーマ「思いやり・つながり・交流～みんなが安心できるまちづくり～」											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
子ども部会	年6回	障がい児事業所	30	「子どもの療育に沿った相互理解の輪を作る」をテーマに活動 相談支援連絡会やSSWなど他機関とつながり相互理解を深めていく。
就労・生活支援部会 (日中活動部門)	年3回	就労継続支援B型、生活介護、自立訓練事業所 等	13	「安心できる居場所づくり」をテーマに活動 年3回の定例会議の際に事業所見学。
就労・生活支援部会 (就労部門)	年3回	就労継続支援A型、生活介護、自立訓練自立訓練事業所 等	20	「考える力を身に着ける～より自分らしいより豊かな人生を歩むために」をテーマに活動。福祉サービス体験説明会、研修会議を実施。
就労・生活支援部会 (生活支援部門)	年4回	居宅介護支援事業所、入所系事業所 等	30	「もっとつながる」をテーマに活動。 情報交換会、懇親会の開催。
研修委員会	年9回	各部門代表者等	10	障がい児者の本当の思いから始まる支援」をテーマに活動 従事者研修の実施。
イベント活動委員会	年5回	各部門代表者等	10	「とどけ！ふれあい笑顔」をテーマに活動 イベントの企画、開催。
相談支援連絡会	年10回	相談支援事業所	15	「相談支援業務の技術的向上を図る」をテーマに活動 勉強会の実施。
訪問看護事業所連絡会	年4回	訪問看護事業所	10	「つながりを活かす」をテーマに活動 訪問看護ステーションの意見交換の機会を作る。
障がい者のための防災講座	年5回	基幹相談支援センター、障がい支援事業所 等	10	障がい者自身の防災意識を高めるために障がい特性に応じた勉強会の企画および実施。

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
きたマルシェ	その他	4月、7月、10月、12月	区民	—	障がい者事業所の啓発・作業所での作成した物品（キーホルダー・バッグ等）の即売会。
夏の思い出ミュージアム	イベント	8月19日～23日	区民	—	障がい者事業所で作成した作品の展示、笹飾りに願い事を書いた短冊を装飾、福祉事業所の活動をモニターで放映。
メッセージライブ	イベント	12月2日～6日	区民	—	障がい者週間に障がい者事業所の活動等のパネル展示等を実施。

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

都島	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称				開催頻度			年4回			参加者数		14名程度	
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他		
	○	○				○			○	○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	各部会の取り組みについての情報共有												

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	年12回	区内相談支援事業所、身障相談員、障がい者就業・生活支援センター など	22	事例検討や困難ケースについての情報共有など
地域当事者部会	年4回	区内障がい福祉事業所、知的相談員、障がい者団体、区社協など	12	障がい理解の啓発や災害時対応への取り組み、交流イベントの開催など
事業所部会	年10回	区内障がい福祉事業所	4	区内障がいサービス事業所に向けた研修会や「社会資源フェスタ」の実施など
こども部会	年12回	区内放課後デイサービス事業所など	30	事例検討や困難ケースについての情報共有など

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
なかまとつながる地域の輪(地域当事者部会主催)	イベント	11月(予定)	区民	100	障がいのある幅広い世代の方と交流していただく場として開催する
障がい児・者 福祉資源フェスタ	イベント	2月(予定)	区民	100	区内障がい福祉事業所が説明ブースを出し情報提供を行う
事業所部会主催の研修会	研修会	8月・3月(予定)	区内障がいサービス事業所	各40	8月虐待(予定)・1月防災(予定)
こども部会主催の研修会	研修会	7月・11月(予定)	区内障がいサービス事業所	各30	未定
精神保健福祉講演会	研修会	12月(予定)	区内障がいサービス事業所、区民	80	未定
相談支援部会主催の研修会	研修会	11月(予定)	区内障がいサービス事業所	50	未定

D 備考

「障がいのある方たちの社会資源マップ」を作成予定

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

福島	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	協議会			開催頻度			5. 7. 9. 11. 2月(年5回)			参加者数		19名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○	○	○		○	○	○	○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	障がい者・高齢者への安全・安心のまちづくりの取り組み 障がい者への理解を深めてもらう取り組み											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援事業所部会	毎月	福島区および近隣区相談支援事業所	約10名	情報交換、勉強会、事例検討

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
高齢者・障がい児/者 ちえのわ相談会	相談会	毎月(第4金曜日)	区民	6	協議会主催で、区障がい者基幹相談支援センター、区社協、社会福祉士、社労士が相談に対応
研修会	研修会	12月～2月頃	区内障がい者施設・事業所等	約60名	協議会主催で、障がい者への理解を深めるための研修会を実施。
「人権啓発推進協議会事業夏休みヒューマンシアター」(啓発活動)	イベント	8月24日	ヒューマンシアター参加者	約300募集	障がい児(者)への理解を深めていただくために、啓発活動を実施。
「人権啓発推進協議会事業春休みヒューマンシアター」(啓発活動)	イベント	3月下旬予定	ヒューマンシアター参加者	約300募集	障がい児(者)への理解を深めていただくために、啓発活動を実施。
区民まつりでの啓発活動	イベント	10月予定	区民	未定	ブースを開設し、障がい者(児)への理解を深めていただくために、作品展示や啓発活動を実施。
障がい者週間の取組み	その他	12月3日～9日	区民	未定	区役所横に幟の設置、障がい者への理解を求める取組みの実施。区広報誌で特集ページを作成。
障がい児・者スポーツ&レクリエーションひろば	イベント	4月13日、11月8日	区内の障がい児・者とその家族等	未定	障がい者向けスポーツやレクリエーションを楽しみ、コミュニケーションを図る。
ポッチャ体験会	イベント	10月予定	区民	未定	区健康展と同時開催することで、障がい者スポーツの振興を促進する。

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

此花	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	此花区地域自立支援協議会			開催頻度			奇数月(年6回)			参加者数		30名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○				○			○	○	○	相談支援事業所 居宅介護支援事業所 障がい者スポーツセンター 生活困窮関係機関
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・今年度から協議会における法定会議が実施されるため、関係機関のより一層のつながりの強化及び垣根の越えた関係作りを行う。そのことにより、地域課題の抽出に取り組む。											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援事業所部会	毎月	区内ならびに隣接区の相談支援事業所、地域活動支援センター	20	・選定会議 令和6年度障がい福祉サービス等報酬改定に伴う合同研修 ・相談支援事業所への情報提供及び情報共有
居宅介護事業所部会	3か月に一度	区内ならびに隣接区の居宅介護事業所	15	・研修の開催 ・各事業所との意見交換、事例の共有。
こども部会	毎月(8月、12月を除く)	区内障がい児通所施設事業所、区内障がい児相談支援事業所、隣接区の多機能型児童発達支援センター	15	・各事業所での困難ケースの事例検討 ・保護者向けの小学校就学座談会 ・支援者向け研修会の開催 ・わいわいひろば 等
相談員部会	4か月に一度	身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	8	・防災マップを利用した防災講習会 ・事業所見学
グループホーム部会	隔月	区内グループホーム事業所	17	・GHの見学 ・研修会の開催 ・防災シュミレーションの開催等
日中事業所部会	隔月	区内日中事業所	15	・支援者の質の向上を目的とした研修会の開催 ・各事業所で共通する課題についての検討 ・区役所庁舎内での物販について

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
運営会議	その他	隔月	各部会の代表者等	10	全体会の議事録作成、次回議案の検討、部会を超えた区としてのイベントの企画等
本会	その他	隔月	障がい者当事者団体・区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・各部会長等	25	各部会の報告・各部会の活動計画や企画の提案を受け具体化する
障がい福祉サービス等報酬改定研修会	研修会	6/6、6/17、7/2	此花区・西淀川区で活動している障がい福祉サービス事業者・支援者等	80	西淀川区地域自立支援協議会と共催。「報酬改定」についての理解を深めるための講義を行う。
風船バレー	その他	毎月2回	区内在住の障がい者と支援している方	50	障がい者スポーツの推進と障がいのある方の居場所づくり

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

中央	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	中央区地域自立支援協議会			開催頻度			年3回			参加者数		20名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○				○			○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	各部会の取り組みと連動した協議会全体の活性化											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	年5回程度	相談支援事業所	17	相談支援事業所選定、事例検討、研修会開催、情報交換
児童部会	年2回程度	障がい児通所事業所、相談支援事業所、支援学校	30	研修会開催、情報交換
日中活動系部会	年2回程度	障がい者日中活動系事業所	12	研修会開催、情報交換
訪問系事業所連絡会	年1回程度	訪問系事業所	31	研修会開催、情報交換
就労系事業所連絡会	年1回程度	就労系事業所	40	研修会開催、情報交換

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

西	区地域自立支援協議会
---	------------

A 協議会本会議

名称	全体会			開催頻度			2回			参加者数		15名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○				○			○	○		
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	■事業計画、事業報告等 ■事務局会議において、地域課題に対する取組を実施（・災害時に備えた「救急カード」の配付を継続 ・災害時に備えた防災マニュアルワーキングを継続 ・コミュニケーション支援ボードの配付ワーキングを継続）											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	毎月	障がい者基幹相談支援センター、地活センター、区内相談支援事業所	12人程度	各事業所の情報交換、勉強会
こども部会	年4回程度	障がい者基幹相談支援センター、障がい児通所事業所	15人程度	各事業所の情報交換、勉強会
就労・日中活動部会	年6回程度	障がい者基幹相談支援センター、地活センター、就労支援事業所、生活介護事業所	30人程度	各事業所の情報交換、勉強会
グループホーム部会	年6回程度	障がい者基幹相談支援センター、グループホーム事業所	10人程度	各事業所の情報交換、勉強会

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
障がいなんでも相談日	相談会	6月、8月、10月、12月、2月	区民	10	障がい者や家族に対する困りごとやサービス等に関する相談
ひきこもり講演会	イベント	12月3日	区民	80	区内在住・在勤の障がいのある方のご家族や地域の方を対象とした講演会
合同研修	その他	7月5日、10月	各事業所職員	50	支援者向けに年2回西区の全事業所（居宅を含む）を対象とした合同研修を実施

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

港	区地域自立支援協議会
---	------------

A 協議会本会議

名称	協議会			開催頻度			3か月に1回			参加者数		15名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○				○			○	○		
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	協議会運営の継続的な取り組み、各種研修の開催方法の検討、ケアマネージャーとの連携、相談支援部会、ヘルパー事業所連絡会、児童系支援事業所連絡会											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	毎月	区内相談支援事業所等	20名程度	制度や相談支援技術の勉強会、情報共有、事業所選定
ヘルパー事業所連絡会	4回／年	区内居宅事業所	10名程度	制度や相談支援技術の勉強会、情報共有
児童系支援事業所連絡会	3回／年	区内児童系相談事業所等	10名程度	制度や相談支援技術の勉強会、情報共有

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
研修会	研修会	7月	事業所	未定	障がい者虐待、児童虐待 研修
研修会	研修会	12月	市民、事業所	未定	未定
福祉のひろば	イベント	未定	市民	未定	未定

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

大正	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	大正区地域自立支援協議会			開催頻度			2ヶ月に1回(偶数月)			参加者数		10～15名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○					○			○	○		
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・地域自立支援協議会活性化のための意識の共有化 ・防災の取り組みについて事業所と区役所とで連携を図る ・個別事例に基づく事例検討を行う											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
計画相談事業所連絡会	偶数月	区内、近隣区域相談支援事業所	20名程度	情報交換

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
障がいのある方のための相談会	相談会	毎月第3月曜日	障がいのある方、家族、事業所	数名	区役所で相談会を開催

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

天王寺	区地域自立支援協議会
-----	------------

A 協議会本会議

名称	本会			開催頻度			奇数月			参加者数		25名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○				○			○	○		
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	みんなでとみにくらす地域づくり											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	4回	区内相談支援事業所、社協	25	「個別事例の情報共有」の有効活用
子ども部会	3回	区内事業所（児発、放デイ等）	15	情報共有と学習会の開催
日中活動部会	3回	区内事業所（就労、生活介護等）	20	障がい者支援施設合同説明会の開催
地域活動部会	3回	地域団体、区内事業所、社協他	15	「ボッチャ体験会」「ハートフルフェスタ」の開催

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

浪速	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	浪速区地域自立支援協議会			開催頻度			3回／年			参加者数		18名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○			○	○	○		○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	令和5年度は年1回の開催となっているため、年3回の開催を目指す。他区協議会での取組み等の情報や各委員からの意見の吸い上げを行い、協議会の本来あるべき姿・活動を行えるよう調整・検討し、今後の取組みに繋げていく。											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	毎月	区内を中心とした計画相談支援事業所	15	情報共有、勉強会、事業所選定、事例検討等
こども部会	年4回	区内を中心とした児童発達支援・放課後等デイサービス事業所 社会福祉協議会、一部計画相談支援事業所	13	情報共有、勉強会、事例検討
生活支援部会	7月から毎月	区内を中心とした計画相談支援事業所 ワーキンググループ毎に検討事案に関する事業所・機関	8	情報共有、事例検討、地域資源発掘、各部会・協議会へのフィードバック

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
障がい者スポーツ普及(仮)	イベント	11月2日	浪速区民	50名(見込)	社会福祉協議会主催の「なにわ福祉ふれあい広場」において、ボッチャ等のスポーツ体験コーナーを設置。
臨時相談窓口	イベント	11月2日	浪速区民	10名(見込)	社会福祉協議会主催の「なにわ福祉ふれあい広場」において、障がい福祉相談窓口を設置。

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

西淀川	区地域自立支援協議会
-----	------------

A 協議会本会議

名称	西淀川区地域自立支援協議会 運営委員会			開催頻度			年6回(奇数月開催)			参加者数		17名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○				○	○			○		○	保護者代表
今年度の主な活動テーマ・検討課題等												

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
こども部会	1回/月(毎月開催)	障がい児通所事業所、保育施設、小学校	20名程度	事業所の情報共有、子育てしえんに関わる研修等
放課後等デイサービス連絡会	1回/2カ月(奇数月)	放課後等デイサービス	15名程度	事例検討、情報の共有(こども部会の下部組織)
相談支援事業所部会	2回/1カ月(毎月開催)	区内等相談支援事業所	25名程度	他機関を交えたケース検討、相談支援専門員向けの研修、計画相談事業所選定等
生活・就労部会	1回/2カ月(奇数月)	日中活動事業所	30名程度	区役所内での授産品販売、イベント開催、事例検討等
グループホーム部会	1回/2カ月(偶数月)	グループホーム	15名程度	学習・情報の共有
居宅介護事業所部会	1回/3カ月(偶数月)	居宅介護事業所	20名程度	実地指導対策、相談支援事業所との意見交換会

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
くらしやおしごと相談フェア	相談会	R5.6月頃	区民	50	就労相談・卒業後の進路相談
障がい者のためのスポーツフェスタ	イベント	R6.10月頃	区内日中活動施設利用者	150	障がい者スポーツセンターの協力を得ての運動会
地域包括・ケアマネとの合同研修	研修会	未定	地域包括・区内ケアマネ・相談支援専門員	70	高齢者支援・障がい者支援の合同研修会
緑陰道路清掃活動	イベント	年3回	グループホームと地域の交流	20	区が主催する清掃活動に参加

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

淀川	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	運営委員会			開催頻度			毎月			参加者数		15名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○					○		○	○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・個別事例の情報共有の仕方についての体制を整え、困難事例の課題解決等に向けた協議や地域課題の解決に向けた検討 ・研修や事例発表などにより地域の支援力の向上 ・物販や防災をテーマに、地域との連携のあり方を検討											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	毎月	区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センター(生活支援型)、相談支援事業所、在宅医療・介護連携相談支援室、障がい者就業・生活支援センター	20名程度	・社会資源情報共有 ・運営委員会の報告 ・事例検討 ・研修(あんしんサポート、障がい年金、介護保険、地域移行、社会福祉協議会、防災関連等) ・他事業所との交流 ・相談支援事業所受け入れ状況の確認・集約
居宅介護支援事業所部会	年4回程	居宅介護支援事業所	9	報酬改定にともなう運営強化
知的障がい者部会	隔月	障がい福祉事業所、相談支援機関、就ボツ、知的相談員、更生保護施設、訪問看護	15	みんなの困りごとを知る(人材育成)、交流会をひらく(人材育成)、地域防災を知る、の3つのテーマを中心に活動を行う。また啓発活動は昨年に引き続き行う。
身体障がい者部会	2か月に1度	淀川区障がい者基幹相談支援センターえんじょい、あい・すまいる淀川、夢ごこち淀川、BeHappy、淀川地域障がい者就業・生活支援センター、地域活動センターすももクラブ、デイサービスRin東三国、希望の園、淀川区医師会在宅医療	10	事業所見学・淀川区バリア状況調査・勉強会・障がい者差別事案の共有等
就労支援部会	毎月	就労系福祉サービス事業所、支援学校、就業・生活支援センター、相談支援事業所	13～17名	①模擬面接②事例検討③人材育成④企業・定着について合同事例検討会、新人職員向けフレッシュャー研修(全3回)など
こども支援部会	原則毎月	障害児通所支援施設、相談支援施設、東淀川支援学校	40	西成高校(ステップスクール)への視察、出来島支援学校の視察、実地指導の情報共有、各種研修会の実施、その他事例共有等

精神保健福祉部会	毎月第3月曜日	区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センター(生活支援型)、地域活動支援センター(活動支援A型)、障がい福祉サービス事業者、相談支援事業所、医療機関、訪問看護ステーション、区役所保健福祉課(精神保健福祉相談員)	15	精神疾患に罹患している患者・利用者様に対して困難症例の検討を通して、発表した事業所の新たな気づきを得て、支援のフィードバックにする事が出来る。
----------	---------	---	----	---

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
勉強会	研修会	9月頃	支援者	40名	地域の事業所での事例発表
勉強会	研修会	10月頃	支援者	40名	意思決定支援について
勉強会	研修会	11月頃	支援者	40名	虐待防止について
西成高校への視察	研修会	5月の部会	障害児通所支援施設、相談支援施設、支援学校	30	令和6年4月より始まったステップスクールの取り組みを視察を行う
出来島支援学校高校への視察	研修会	秋ごろの予定	障害児通所支援施設、相談支援施設、支援学校	30	令和6年4月より始まった出来島支援学校の視察を行う
研修会	研修会	9月、10月の部会	障害児通所支援施設、相談支援施設、支援学校	50	士業の方と連動して、虐待研修などを行う。
勉強会	研修会	2月頃	支援者	40名	カスタマーハラスメントについて
令和6年度ハローワーク淀川障がい者合同就職面接会(協力:就労支援部会)	イベント	12月頃	当事者	50名	淀川区、ハローワーク淀川主催の合同面接会

D 備考

--

令和6年度 活動計画

東淀川 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称	東淀川区地域自立支援協議会全体会議			開催(予定)月			(年6回)※コロナ収束まで事務局会議を付			参加者数	20名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他
	○	○			○	○			○		
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・障がい者スポーツに関して、振興を進めていく方針の情報共有・事例検討・事業所向け研修・イベント、広報啓発活動の周知・・新大阪駅のバリアフリーマップの作成と、バリアフリー現地チェック(昨年度に引き続き)→バリアフリーマップ作成(大阪市HP掲載)・カスタマーハラスメント研修開催・各部会情報共有による進捗の把握・みんなでわっしょい、スポーツフェスタに関する決定→運営方法や役割などの議論・決定										

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
精神保健福祉部会	毎月	基幹相談支援センター、地域活動支援センター、訪問看護ステーション、精神科クリニックPSW、相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、居宅介護支援事業所(高齢)、区保健福祉センター	15名程度 (拡大事例検討会、研修会は、40名程度)	・対面・リモート(Teams) ・定例会議の実施 ・研修会実施 ・部会内での事例検討会 ・拡大事例検討会
居宅介護事業所部会	毎月	居宅介護事業所等	10～15名	事業所間の情報交換、事業所間のネットワークの構築、サービスや介護職員のスキルアップを目的とした勉強会、事例検討等
相談支援事業所部会	毎月	区内の相談支援事業所等	10～15名	事例検討会を通して相談支援専門員のスキルアップを図る 社会資源の共有
こども部会	毎月	児童発達支援センター、障がい児・障がい者通所支援事業所、保育所、幼稚園、府立支援学校、母子生活支援施設・女性と子育て支援G・相談支援事業所等	20～30名	部会参加事業所を訪問し紹介、事例検討を通して事業所や学校と連携し課題解決、勉強会(柴島高校教諭講師として不登校についての学校の取組と地域連携、後見人制度について)、防災について事業における取組の紹介
就労支援部会	毎月	区内就労支援事業所、支援学校、就労、ハローワーク等	15名	東淀川区日中活動系事業所説明会(Let's 新しい日のために)開催 就労に関する講師を招いて研修会開催、就労部会のホームページ作成

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
東淀川区福祉explets6	研修会	6月15日	市民	100	居宅・就労部会共催 年金セミナー、法定後見セミナー、事業所紹介
精神障がいのある方を地域で支えるために	研修会	8月22日	相談支援部会その他	40	相談支援部会研修
アウトリーチ研修	研修会	6月、11月、1月頃	市民	100	部会合同。6月は東淀川区福祉explets6に含む
事例検討	事例検討	10月	精神保健福祉部会	40	精神保健福祉部会研修
合同研修	研修会	10月	市民	100	居宅・就労部会共催
保護者支援	研修会	7月	市民	40	こども部会研修
インクルーシブ	研修会	9月	市民	40	こども部会研修

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

東成	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	東成区地域自立支援協議会			開催頻度			年3回程度			参加者数		15名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○				○		○	○	○	○	地域福祉活動サポーター
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・当事者および地域の関係機関・事業者・支援者との会議や勉強会、イベント等を通じ、障がい者への理解の促進や障がい者支援の充実をめざす。 ・障がい者の権利を守り、安心して暮らせる地域づくりをめざし、社会資源にかかる情報発信、支援ネットワーク強化を図る。											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	毎月	障がい者基幹相談支援センター、地域生活支援センター、区内相談支援事業所、地域包括支援センター、在宅医療・介護連携相談支援室、障がい者就業・生活支援センター	20名程度	ネットワーク強化、制度の勉強会、地域移行制度の検証、相談支援制度の検証等
事業所部会	年3回	障がい者基幹相談支援センター、各連絡会代表者（日中支援連絡会、生活支援連絡会、居宅支援連絡会、児童支援連絡会、相談支援連絡会）	5名程度	各種サービス事業所の情報共有、現状把握、課題検討、研修会の企画等

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
障がいのいろいろ相談会	相談会	偶数月（年5回）	障がい者およびその家族等	8	地域生活における困りごとや障がい福祉サービス等に関する相談
障がい理解イベント	イベント	未定	区民、支援者等	100	障がい理解について
東成区障がい者支援連絡会	その他	年3回程度	区内障がい福祉事業所	最大50名程度	指定事業種別ごとの連絡会開催、学習会・研修会の開催、事業所部会との情報共有
障がい者スポーツ振興	イベント	未定	区民、支援者等	100	東成区スポーツ推進委員協議会との連携によるイベント開催

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

生野	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	生野区自立支援協議会			開催頻度			7・9・11・2・3月開催			参加者数		20名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○			○	○		○	○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	○生野区障がい者基幹相談支援センターの運営評価 ○生野区相談支援部会の年間計画と活動報告 ○市レベルで取り組むべき課題と認識している課題について ○防災について ○障がい者・障がい児事業所からの情報共有について ○生野区高齢者・障がい者虐待防止連絡会 ○障がい者虐待について ○個別支援検討会からの報告 ○令和7年度年間計画について(案)											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	毎月	区内相談支援事業所	30	制度や相談支援技術の勉強会
主任相談支援専門部会	月2回	区内主任相談支援専門員	4	区内にある、障がい者グループホームの現状把握により、地域課題の抽出に繋げる。
個別事例検討部会	随時	生野区障がい者基幹相談支援センター、生野区主任相談支援専門員、その他障がい者支援に関する知識・経験を有するもの	10	支援困難事例等に対する関係機関の連携による具体的な支援方針等について協議

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
未定					

D 備考

--

令和6年度 活動計画

旭	区地域自立支援協議会
---	------------

A 協議会本会議

名称	旭区地域自立支援協議会			開催頻度			2か月に1回			参加者数		20名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○			○	○		○	○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・旭区地域福祉計画に沿った防災支援体制の検討 ・全体総会(R6.5.7)や各部会において各種イベントや研修会を開催し、活動の啓発・周知の推進 ・本会及び各専門部会における認識・課題の共有 ・個別事例にかかる情報共有会議からみえてくる課題の検討											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	偶数月(年6回)	基幹・相談支援事業所	20	相談支援体制の連携・強化・スキルアップ、就学・進学なんでも相談会への参画、制度学習
こども部会	不定期(年約4回)	基幹・障がい児通所事業所・教育機関・医療機関・ボランティア団体	26	啓発活動等、就学・進学なんでも相談会の実施、セミナーの開催、教育と福祉と医療の連携
高齢・障がい部会	奇数月(年6回)	基幹・包括・相談支援事業所・ケアマネ事業所・日中活動系事業所・訪問看護事業所	16	8050問題等高齢・障がい複合的課題の周知・啓発及び解決に向けたモデル検討・ネットワーク構築、65歳の壁問題の取り組み、介護保険移行ガイドラインの検証
日中支援部会	不定期	日中活動系事業所・就ポツ	16	事業所間の連携、防災の取り組み、物販の取り組み、支援者のスキルアップ

C その他の活動(他機関との共催を含む)

①:こども部会

②:日中支援部会

③:高齢障がい部会

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
就学・進学なんでも相談会①	相談会	令和6年6月10日～7月20日	区民	約40	区内全小学校および区役所にて就学・進学にかかる相談会
和んで座談会②	イベント	未定	区民	約100	当事者を含む地域交流の場
事業所連絡会(児)①	その他	不定期	区内障がい児通所事業所	約20	他事業所との連携、情報交換、交流イベント開催(R6.8.5)
子育て応援セミナー①	その他	令和6年8月ごろ	区民	約10	障がい当事者・家族による講演、グループディスカッション等
居宅介護事業者連絡会との合同研修会③	研修会	令和6年5月23日	ケアマネージャー、相談支援専門員	87	8050問題の事例検討、グループディスカッション

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

城東	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	全体会			開催頻度			年4回			参加者数		60名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	情報交流と各部会・事務局からの報告を受け、情報共有を行い、地域や障害にかかわる課題について話しあう。											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
地域活動部会	月1回開催	区障がい者基幹相談支援センター、生活介護事業所、当事者団体、区社協、区保健福祉センター保健福祉課	15名程度	防災関連事業、地域との交流事業(ピアフェスタ、SARUGAKU祭・ポッチャ大会)、障がい者交流会
相談支援部会	月1回開催	相談支援事業所	20名程度	区内相談支援事業所間の連携 区内計画相談支援事業所の選定・調整 相談支援員の質の向上研修、交流
就労部会	月1回程度開催	就労支援継続事業所、区障がい者基幹相談支援センター、支援学校	20名程度	事業所見学会、区内就労社会資源チラシ、情報交流
居宅介護部会	3か月1回程度開催	居宅介護事業所	10名程度	研修、グループワーク
当事者部会	年1回	当事者団体	15名程度	講演会、交流会
地域生活部会	月1回程度開催	居宅介護事業所、生活介護事業所、相談支援事業所	7名程度	地域生活について情報収集、地域生活の現状把握と支援する側の質の底上げ、広報活動
児童部会	年10回開催	児童発達支援、放課後デイサービス事業所	20名程度	事業所紹介用リーフレット作成、研修・交流会、事例検討

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
ピアフェスタ	イベント	10月予定	当事者・職員・地域福祉委員	約50	ポッチャ大会
SARUGAKU祭	イベント	9月予定	市民	約4000	パラスポーツ体験、当事者との交流(予定)
性教育研修(親の会共催)	研修会	6月20日	市民・児童関係者	50名	児童の性教育を考える
MAJT就労フェスタ(共催)	イベント	5月25日	市民・事業者	150.名	就労事業者ブース開設で案内
医療的ケア児防災シンポ	研修会	8月と2月予定	当事者・家族・事業者	40名	医療的ケア児福祉避難所拠点づくりにむけて

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

鶴見	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	鶴見区地域自立支援協議会			開催頻度			7月、11月、3月			参加者数		15名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室		地域団体・住民	その他	
	○	○	○	○	○	○	○	○				
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	障がいのある方への支援体制や障がい福祉に関する情報を共有し、各機関が連携して地域の障がい福祉に関する課題や困難事例への対応について協議していく。											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
相談支援部会	毎月	区内外計画相談支援事業所、区基幹相談支援センター、北部就労・生活支援センター	20名程度	制度や相談支援技術の勉強会、事業所選定会議
事業所部会	年3回	区内障がい者支援事業所等	50名程度	勉強会・交流会・納涼祭・イベントの開催
事業所部会(運営委員)	毎月(部会開催月は除く)	区内障がい者支援事業所等	8名	勉強会・交流会・納涼祭・イベントの開催の検討
児童部会	年2回	区内障がい児福祉サービス事業所等	30名程	勉強会・交流会・イベントの開催
児童部会(運営委員)	随時	区内障がい児福祉サービス事業所等	10名程	勉強会・交流会・イベントの開催の検討

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
鶴見区障がい者基幹相談支援センター自主事業への共催	研修会	令和6年度秋ごろ	区内障がい者サービス事業所等	100名程	未定

D 備考

--

令和6年度 阿倍野区地域自立支援協議会 活動計画

阿倍野	区地域自立支援協議会
-----	------------

A 協議会本会議

名称	阿倍野区地域自立支援協議会(本会)			開催頻度			5月、R7年3月			参加者数	20名程度	
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○			○	○		○	○	○	○	母子支援施設、地域福祉支援
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・運営会議、各部会間の情報の共有を図るためのしくみづくり、情報発信のしくみづくり ・各部会での取組(事例検討等)における地域課題の抽出、解決への意見・提案を考える ・南部地域の自立支援協議会、支援学校との連携に向けての取り組み											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
運営会議	年10回	区基幹相談支援センター、地域活動支援センター、阿倍野区作業所連絡会、区社協、区内障がい事業所	約20	・事例検討後の課題を共有するシステム作り ・部会、ワーキンググループ間の情報集約と共有、本会の運営
相談支援部会	偶数月部会、奇数月勉強会	区基幹相談支援センター、区内相談支援事業所、障がい児相談支援事業所	約20	・相談支援の啓発活動・関係機関との連携強化(相談支援専門員の役割の明確化、相談支援にかかる周知方法の検討) ・地域課題の抽出 ・相談支援員のスキルアップ
日中系部会	奇数月	区基幹相談支援センター、地域活動支援センター、区内日中活動系事業所(障がい者のみ)、デイケア	約25	・日中どこいこ?見つけるフェスタの開催 ・他部会との交流を図るイベント開催 ・事業所間見学会 ・住之江支援学校合同事業所説明会の開催
AKS(障がい児)部会	奇数月部会、他3回勉強会	区基幹相談支援センター、区内障がい児通所事業所、区内障がい児相談支援事業所	約25	・事業所間の情報共有 ・スキルアップのための研修の開催や事例検討会の開催 ・教育機関との連携強化、地域イベントへの参加
研修ワーキンググループ	随時	運営会議、相談支援部会、日中活動系部会、障がい児部会より各数名	約12	事業所連絡会、主催研修の開催準備
地域連携ワーキンググループ	随時	運営会議、相談支援部会、日中活動系部会、障がい児部会より各数名	約12	高齢・障がい合同研修会の開催準備
学校連携ワーキンググループ	随時	運営会議、相談支援部会、日中活動系部会、障がい児部会より各数名	約12	日中どこいこ?見つけるフェスタの開催準備

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
日中どこいこ?見つけるフェスタ	イベント	6月8日	区民、日中活動系事業所(児・者)、相談支援事業所	100	障がい者、児、その家族、支援者を対象とした日中系事業所、相談支援事業所による説明会
事業所連絡会	研修会	7月、10月、2月	区内障がいサービス事業所	50	区内障がい事業所の研修、情報交換を目的とした連絡会
障がい者何でも相談会	相談会	毎月(4月、1月を除く)1日	区民、区内相談支援事業所	月1~3名	相談支援事業所が持ち回りで担当し、障がいに関する相談を受ける
ハローワーク実演体験会	相談会	5月、8月、9月、11月、12月、3月	市民、区内相談支援事業所	月1~3名	ハローワークあべのにて相談支援事業所が持ち回りで担当し、障がいに関する相談を受ける
住之江特別支援学校合同説明会	イベント	7月6日	住之江校区内日中系事業所	15(阿倍野区)	住之江特別支援学校及び校区(3区)が合同で日中系事業所説明会を実施し生徒の進路に役立ててもらう
主催研修	イベント	未定	区民 区内障がいサービス事業所	100	区民向けに障がいにかかる啓発、障がいをテーマとした内容の講演会等
障がい者週間における啓発	その他	12月1日~15日	区民		区役所内区民ギャラリーにて、障がいにかかる啓発を目的に障がいをテーマとした内容を展開

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

住之江	区地域自立支援協議会
-----	------------

A 協議会本会議

名称	全大会			開催頻度			年1回			参加者数		25名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○		○	○	○	○	○	○	○		
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	地域課題、困難事例の対応・支援者のスキルアップ、ネットワーク構築のための勉強会や研修会開催											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
運営幹事会	偶数月開催	各部会代表者	20	協議会活動の課題整理、統括
精神保健福祉ネットワーク部会	毎月開催	精神保健福祉関係の事業所、作業所、就業支援センター	12	情報共有、ケース検討会によるスキルアップ、地域のネットワークづくり
子ども部会	奇数月開催	障がい児関係の事業所、作業所	10	情報共有、ケース検討会によるスキルアップ、地域のネットワークづくり
相談支援部会・相談支援事業者連絡会	毎月開催	障がい関係の事業所、作業所、就業支援センター 等	15	なんでも相談会開催、困難事例のケース会議
当事者部会	奇数月開催	当事者を中心とした事業所等	11	当事者間の情報共有、防災への取り組み
生きがい部会	イベントを中心に開催	障がい関係の事業所、作業所、就業支援センター 等	—	地域の社会資源の活用・改善検討、すみのえハートスタジアム開催
就労支援部会	随時開催	就労支援関係の事業所、作業所、就業支援センター、学校、保健師 等	20	情報共有、地域のネットワークづくり、日中活動ガイドブックの改訂、事業所紹介

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
勉強会・研修会	研修会	随時	事業所等		
すみのえハートスタジアム	イベント	R6.5.25	地域住民、事業所等		パフォーマンス、活動紹介、出店 など

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

住吉	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	住吉区地域自立支援協議会総会			開催頻度			年1回			参加者数		20名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○					○	○	○	○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	- 令和5年度活動報告及び令和6年度活動予定、区障がい者基幹相談支援センター評価 - 各部会からの活動報告や課題報告、障害者虐待や差別への啓発活動、社会資源マップ作成、報酬改定後の各事業所の状況等。											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
事務局会議	月1回	障がい福祉事業所関係、区障がい者基幹相談支援センター、地域生活支援センター生活支援型、就業生活支援センター、見守り相談室、区役所	各10名程度	「障がい者の暮らし何でも相談」について、広報すみよしを活用して区民への周知に努める。 - 年4回の研修会について、テーマの選定や内容についての議論。 - 社会資源マップ作成 ・各部会からの報告及び課題検討 ・制度情報は国の動向など
相談支援部会	概ね月1回	区障がい者基幹相談支援センター、指定相談支援事業所、見守り相談室、区役所	各20名程度	制度等の情報提供、各事業所状況の把握、各事例相談や社会資源の情報交換、報酬改定にかかる課題集約、相談員のスキルアップにかかるワークやミニ研修会
グループホーム部会	2か月に1回	共同生活援助事業所、区障がい者基幹相談支援センター、地域生活支援センター生活支援型	各10名程度	グループホーム運営に関する課題の共有、学習会などを実施し、グループホームの運営改善を図る。
日中活動支援部会	2か月に1回	日中活動事業所（生活介護・就労継続A、就労継続B・就労移行支援・自立訓練）、区障がい者基幹相談支援センター	各10名程度	事業所間の作業内容の共有・製品、作業アイデアの創作・コロナ禍の活動状況の課題共有、情報交換、顔の見える関係づくり。
精神保健福祉ネットワーク部会	年3回程度	医療関係者、訪問看護事業所、障害福祉事業所関係、区障がい者基幹相談支援センター、地域生活支援センター生活支援型、就業生活支援センター、区役所	各15名程度	（対面開催）地域福祉実践に活かせるテーマでのグループワーク （完全オンライン）事例検討会との合同実施 部会員より事例提供 （完全オンライン）精神保健福祉、疾病などに関する研修会
こども部会	3か月に1回、適宜研修	障がい児、者福祉事業所関係、地域の不登校関係のNPO、医療関係が事務局を担う。研修参加者は地域の方、福祉、教育、医療関係者など	各4、5名 研修：10-30名	こどもを取り巻く諸課題についての意見交換や研修の場をつくる

C その他の活動(他機関との共催を含む)

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
事業所連絡会研修会	研修会	6月、9月、11月、1月	区民、福祉事業所関係	各40名程度	・福祉課題等を中心とした区民や事業者向けの啓発学習会。
なんでも相談	相談会	毎月第4水曜日11:00～14:00	障がい者児、その家族や関係者等	各3組程度	・障がいを持つ当事者やその家族、関係者を対象とした相談会を実施。
事例検討会	事例検討	9月、10月、11月、12月、3月の年5回 第2水曜日10:30～12:00	福祉事業所	各15名程度	・困難事例について対応策を検討し、社会資源などの情報を共有する。

D 備考

--

令和6年度 活動計画

東住吉	区地域自立支援協議会
-----	------------

A 協議会本会議

名称	本会議			開催頻度			年3回			参加者数	20名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他
	○	○			○	○			○		
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	令和5年度事業報告、令和6年度事業計画、次年度予算、各部署の活動報告、全体会の検討、地域生活支援拠点等の登録状況の確認、事例検討 他										

名称	全体会			開催頻度			年1回			参加者数	100名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他
	○	○			○	○	○	○	○	○	
今年度の主なテーマ・検討課題等	(障害者差別解消法の改正による)合理的配慮の提供の義務化について										

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
事務局会議	毎月	区障がい者基幹相談支援センター 地域活動支援センター 区内事業所 障がい者就業・生活支援センター 区社会福祉協議会 区保健福祉課	12名	活動状況振り返り、事業計画、各部署報告、全体会、区民フェスティバル、事業所マップ、地域生活支援拠点等登録申請に関する説明会、地域課題の抽出 他
相談支援部会	各月第1・2・4月曜日	区内相談支援事業所	約30名	相談支援利用希望に対する選定会議、研修会、地域課題、事例検討 他
子ども部会	①運営委員会年8回 ②学習会年3回程度 ③事業所見学会年2回	区内障がい児通所事業所 保育所、幼稚園、小中学校、支援学校	①約10名 ②③約30~50名	研修会、事業所見学会、事業所情報集発行 他
日中活動系連絡会	①運営委員会年2回程度 ②研修会・勉強会	区内日中活動事業所	①約10名 ②約20~30名	事業所見学会、援学校通所事業所説明会、事業所情報集発行 他
居住系事業所連絡会	年2回	グループホーム、ショートステイ事業所	約10~15名	研修会
当事者部会	年1回~2回	日中活動事業所・利用者 他	約25名	研修会

事例検討会	年3回程度	区内相談支援事業所、障がい児通所事業所、日中活動事業所、居住系事業所、派遣事業所	約20~40名	事例検討会
-------	-------	--	---------	-------

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
「東住吉区民フェスティバル」ブース出展	イベント	10月頃	区民・イベント来訪者	約15事業所	障がい者・児福祉相談支援コーナー 障がい者・児支援施設写真展
「障がいのある方たちの事業所マップ」作成	その他	1月作成	障がい関係施設利用者 希望者等	1,000部	区内障がい者関係事業所の所在地、事業内容を掲載したマップの作成、配布による周知

D 備考

--

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動計画

平野	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	運営委員会			開催頻度			偶数月(年6回)			参加者数		20名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○				○	○	○	○			
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・医療機関との連携 ・障害者差別解消法改正による合理的配慮											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
運営委員会	2ヶ月に1回	障がい福祉事業所 障がい当事者 区社会福祉協議会 区基幹支援センター 区就労支援センター 区地域活動支援センター他	20名程度	・部会報告 ・行事参加 ・各種会議参加 ・障がい者理解のPR活動
相談事業部会	毎月(第3金曜日)	区内相談支援事業所 区障がい者基幹相談支援センター他	20名程度	・各事業所空き状況及び活動状況 ・区行政機関等との連絡体制 ・各事業所間の情報共有
日中活動部会	年に数回	区内の日中活動系事業所 他	15名程度	・通所事業所説明会 ・平野区開催へのアンケート調査
研修部会	年に数回	区内の日中活動系事業所 他	20名程度	・勉強会開催 ・身近な制度の申請における研修
居宅事業部会	3ヶ月に1度 (6・9・12・3月)	区内の居宅事業サービス事業所 他	40名程度	・定例会、意見交流会等 ・区内居宅事業所の協力関係の構築 ・諸課題の共有及び解決に向けた取組み ・障がい当事者の利便性の向上
当事者部会	毎月(第3金曜日)	区内居住の障がい当事者	10名程度	・障がい当事者の意見交換 ・部会の認知度UPに向けた取組み ・当事者の声、広く発信するために

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
区政会議	その他	年4回	地域団体、公募選定 等	33	障がい者の支援者の視点から、住みよいまちづくりの意見交換を行う
東住吉支援学校通所事業所説明会	イベント	令和6年7月19日（金）	各事業所	未定	各事業所の特性などを学生や保護者へ説明を行う
地域活動福祉コーディネーターとの連携	その他	随時	地域活動福祉コーディネーター	数名	障がい当事者とコーディネーターとの交流。障がい理解を深める

D 備考

「障害者差別解消法」改正の初年度。合理的配慮の提供が事業所も義務化となり、障がい者との共生社会の現実にむけた取組（広報や障がい者理解）を行う
--

令和6年度 活動計画

西成	区地域自立支援協議会
----	------------

A 協議会本会議

名称	西成区障がい者自立生活支援調整協議会			開催頻度			年1回(7月)			参加者数		28 名程度
参画機関	障がい福祉事業所	障がい当事者	ボランティア団体	高齢福祉機関	子育て・教育機関	就労関係機関	保健・医療機関	見守り相談室	区社協	地域団体・住民	その他	
	○	○			○	○	○		○		○	人権協会
今年度の主な活動テーマ・検討課題等	・地域福祉推進チーム会議に挙げる令和5年度意見書についての確認、審議を行う ・区障がい者基幹相談支援センターの運営評価について審議する ・各専門部会の代表より報告を受け、活動内容、活動計画について確認する											

B 部会

名称	開催頻度	参画機関	参加者数	今年度の主な活動
運営委員会	毎月	区基幹相談支援センター、各専門部会代表、障がい福祉事業所、地活センター(生活支援型)、区社協 等	約15名	各専門部会からの開催報告・意見聴取・情報共有、各専門部会から挙げられた西成区における課題の集約・検討、専門部会全体報告会・研修会の調整。
専門部会全体会	年2回程度	下記専門部会参画機関	約30名	各専門部会からの報告会、全体研修会。
相談支援部会	毎月	区基幹相談支援センター、区内相談支援事業所、地活センター(生活支援型)等	約30名	制度や相談支援技術の勉強会、相談員同士の連携強化、事業所選定、事例検討や事業所運営における課題などスキルアップの取り組み内容の検討、地域課題から社会資源の検討。
日中活動系事業所部会	年6回	地活センター、障がい者施設、生活介護事業所、就労継続支援事業所、共同生活援助事業所、区基幹相談支援センター 等	約20名	西成区内の日中活動系事業所の顔の見える関係づくりを通じてネットワークを構築し、他分野(相談支援等)との連携を強化。協議会に未参画の事業所への参加促しを図り、地域課題の抽出や地域ストレスを把握。事例検討や事業所運営における課題などスキルアップの取り組み内容の検討。
就労系事業所部会	毎月	就業・生活支援センター、職業安定所、地活センター、就労継続支援事業所、区基幹相談支援センター 等	約25名	事業所情報の共有、社会資源の確認、参加事業所の開拓。
こども部会	年6回	区内障がい児相談支援事業所、保育所、小学校、中学校、高校、人権協会、教育委員会、区基幹相談支援センター等	約15名	「共に学び、共に育ち、共に生きる」をテーマに不登校児支援、保護者ニーズの把握、ヤングケアラーの課題、児の社会資源の広報(情報提供)。
地域活動部会	年6回	区社協、地活センター(生活支援型)、区基幹相談支援センター、障がい福祉事業所、当事者団体 等	約10名	障がいについて理解を深めることを目的とした啓発活動や、西成ポッチャカップの開催内容の検討等。

精神保健福祉連携部会	毎月	地活センター（生活支援型）、区基幹相談支援センター、区精神保健福祉相談員、区内地域包括センター、オレンジチーム、つながる場担当者、地域体制整備CSW、訪問看護ステーション連絡会等	約20名	精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムづくりのため、区内支援者向け研修会の開催、会議内での事例検討、関係機関連携のための方法についての検討を実施し、地域課題の解決に向けた協議等。
------------	----	---	------	--

C その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容
あったかハートフェスティバル	イベント	11月17日	市民	約700名	地域で暮らす障がい者への理解を促すための啓発と交流を目的とした区事業への参画 ※令和4年度から区民まつりに統合
東住吉支援学校日中活動系事業所説明会への参加	イベント	7月19日	東住吉支援学校卒業予定者及びその家族	保護者約100名 日中活動系事業所	東住吉区自立支援協議会から東住吉支援学校で開催の説明会への参加依頼があったもの。区内事業所及び相談支援事業所が参加
住之江支援学校事業所合同説明会（阿倍野区・住之江区・西成区）	イベント	7月6日	住之江支援学校卒業予定者及びその家族	保護者約50名 日中活動系事業所	3区合同自立支援協議会と住之江支援学校が共催し平成30年度に発足。支援学校卒業後の日中活動場所の情報提供。
西成ポッチャカップ	イベント	11月開催予定	区内在住の障がい者	約60名	事業所対抗のポッチャ大会。区身協主催のスポーツ大会から有志の事業所主催のポッチャ大会へと遷移したもの。令和5年度より地域活動部会主導で開催している。

D 備考

--